

# 令和8年度 6月補正予算概要

## 報道発表



玉城町

令和8年6月5日(金)

# 【令和8年度 6月補正予算の概要】

未来へつなぐ、玉城のまちづくり



令和8年6月5日

# 令和8年度一般会計6月補正予算の概要

●令和8年度当初予算は、年度末に町長選挙を控えていたことから、政策的経費は抑え、継続的事業や義務的経費を中心に、骨格予算として編成しています。

そのため、今回の補正予算は、新規事業や投資的事業などの政策的経費を中心にした「肉付け」予算編成としています。

補正前予算額

73億3,800万円

補正額

5億円

補正後予算額

78億3,800万円

【対前年度当初予算比1億4,700万円(1.9%)の増】

# 6月補正予算の重点ポイント

特別対策：中東情勢による物価高騰対策

①子ども・子育て支援の充実

②防災・減災力の強化

③DXの推進

④地域の活性化

# 中東情勢による物価高騰対策 ～町民生活と地域経済を守る緊急支援～

## NEW 地域通貨「たまネー」ギフト事業 (80,000千円)

・たまネー(デジタル地域通貨)ギフト券を**全町民**に配布。1人あたり**5千円分**発行。  
【家計支援・地域経済の活性化】

## NEW たまネー物価高騰対策キャンペーン事業 (40,000千円)

・たまネー(デジタル地域通貨)利用にあたりプレミアム**ポイント還元**キャンペーンを実施。  
【家計支援・町内店舗利用促進・地域経済活性化】  
(今回補正20,000千円、繰越20,000千円)

## NEW 水道基本料金免除事業【水道事業会計】 (12,600千円)

・原油価格・物価高騰等に直面する町内事業者及び町民の経済的負担を軽減するため、水道基本料金**3か月間分**を**免除**(官公庁を除く)。

## NEW 小学校給食無償化(材料費高騰分町負担) (7,135千円)

・給食費6,000円と国基準額5,200円の差額800円/月を町費で負担し、小学校給食費を**無償化**。

※中学校も2,600円を公費負担し、保護者負担軽減実施中

# 物価高騰対策 ～町民生活と地域経済を守る緊急支援～



水道基本料金免除

準備・配布

たまネーギフト

たまネー  
ポイントCP

小学校 給食完全無償化 ・ 中学校 月額2,600円/人 補助

<実施スケジュール>

# ①子ども・子育て支援の充実

## ● 保育所通園保護者負担軽減事業

保育所通園にかかる保護者負担軽減のため、町内全保育所ではし、スプーン等を提供。  
(管理に伴う委託料、食器消毒保管庫購入等の経費を含む)

保健福祉課

予算額  
2,077千円

## ● 保育所防犯カメラ設置事業

保護者が安心して児童を預けられる環境を整えるため、町内全保育所の出入口に防犯カメラを設置。  
不審者の特徴や不意の事故等の映像を記録し、安全確保や、防犯抑止力を向上させる。

保健福祉課

予算額  
1,782千円

# ①子ども・子育て支援の充実

## ● 保育システム用タブレット端末追加導入事業

保育システム「HOICT」を未満児の連絡にも活用するため、タブレット端末12台を追加整備する。  
システム入力により紙を縮減し、保護者と保育士双方の負担軽減につなげる。

保健福祉課

予算額  
4,252千円

## ● 保育所職員の待遇改善による保育力の向上

保育所職員の待遇改善の特別対策として、職員の給食費用を免除し、保育士の就労と定着を促進し、安定した保育環境で保育力向上につなげる。

保健福祉課

予算額  
6,000千円

## ②防災・減災力の強化

### ● 避難所マンホールトイレ整備事業

南海トラフ地震等の大規模災害に備えるために、災害用マンホールトイレ(貯留型)の整備を進める。  
田丸小学校避難所への整備に向けた工事設計を行い、次年度の施工につなげる。(財源は緊急防災・減災事業債を活用予定)

総務防災課

予算額  
6,380千円

### ● 感震ブレーカー個人向け補助金創設

地震等の災害発生時における電気火災の発生を未然に防止するため、自身が所有する住宅に感震ブレーカーを設置した方に対し、その費用の一部を補助する。

(※自主防災組織への補助継続)

総務防災課

予算額  
300千円

## ②防災・減災力の強化

### ● 木造住宅空家除却・耐震シェルター補助拡充

- ・空き家の除却(解体)費用の補助上限額を増額(207千円→400千円)。
- ・家屋倒壊から命を守る「耐震シェルター」設置にかかる補助要件の緩和(耐震診断「要」→「不要」)。

建設課

予算額  
2,916千円

### ● 外城田川災害防止対策事業の拡充

準用河川外城田川の護岸及び護床整備等の災害防止対策予算を追加し、加速化させる。

(財源:緊急自然災害防止対策事業債を活用、  
令和8年度事業費総額170,000千円, 70%UP)

建設課

予算額  
70,000千円

## ③DXの推進

### ● 公開型GIS導入事業

公開型GIS(地理情報システム)を構築し、社会基盤台帳情報を町ホームページにて公開し、住民の利便性向上を図る。

(財源:地域未来交付金デジタル実装型を活用)

建設課

予算額  
4,664千円

### ● キオスク端末・翻訳機導入事業

・住民の利便性向上を図るため、保健福祉会館へ「コンビニ交付システム」と同様のキオスク端末を設置する。

・役場及び保健福祉会館の窓口に翻訳機を導入する。

(財源:地域未来交付金デジタル実装型を活用)

税務住民課

予算額  
10,118千円

## ④地域の活性化

### ● 地域経済循環創造事業

産官学金の連携により、地域の資源と資金を活用した、地域課題の解決に資する新たなビジネスの立ち上げを支援する(ローカル10,000プロジェクト)。

(財源:地域経済循環創造事業交付金を活用)

まちづくり推進課

予算額  
40,000千円

### ● 地域資源活用価値創出事業

地域資源を活用し、定住の促進及び地域活性化等を図るため、新規就農者の育成及び地域特産物のイチゴの生産・販売力強化を目指す。

(財源:農山漁村交付金を活用)

産業振興課

予算額  
63,425千円

## ④地域の活性化

### ● 地域農業構造転換支援事業

地域の中核となる担い手の経営改善に資する農業用機械・施設の導入を支援し、持続可能な農業経営の確立を目指す。

(財源:地域農業構造転換支援事業補助金を活用)

産業振興課

予算額  
16,227千円

### ● 住民主体のまちづくり交付金創設

町制60周年時に創設した「協働のまちづくり事業交付金」をリニューアルし「住民主体のまちづくり事業交付金」へと深化させる。

(補助上限:重点テーマ枠30万円、一般枠20万円)

まちづくり推進課

予算額  
2,000千円

# その他

## ● 保健福祉会館照明LED化事業

保健福祉会館の照明機器をLED化に更新する。  
(財源には脱炭素推進事業債を活用)

保健福祉課

予算額  
22,000千円

# 第6次総合計画施策(5つの基本目標)

## <目標①:人と文化が育ち、愛着が感じられるまち>

予算額

59,473千円

### ● 子ども・子育て支援

- ・ **NEW** 保育所通園保護者負担軽減事業
- ・ **NEW** 保育所防犯カメラ設置
- ・ 保育システム用タブレット端末追加導入事業
- ・ 保育所職員の待遇改善に伴う保育力向上

- ・ 小学校給食完全無償化(給食材料費町全負担)
- ・ **NEW** 外城田小学校擁壁修繕

### ● DX

- ・ **NEW** 窓口への翻訳機導入
- ・ 中央公民館窓口PC更新

### ● その他

- ・ 女性活躍推進事業
- ・ 田丸城跡報告書印刷製本

## <目標②:みんなが健康で、ともに支え合うまち>

予算額

22,000千円

### ● その他

- ・ **NEW** 保健福祉会館照明LED化事業

## <目標③:良好な環境の中で、安全に暮らせるまち>

予算額  
28,930千円

### ● 防災・減災

- NEW 避難所マンホールトイレ整備事業
- NEW 感震ブレーカー個人向け補助金創設
- NEW 消防2分団車両更新
- 木造住宅空家除却事業補助金拡充
- 耐震シェルター補助事業拡充
- 雨量計更新

### ● その他

- 通学路安全対策(グリーンペイント等)

## <目標④:まちの活力を高め、持続的に発展できるまち>

予算額  
333,808千円

### ● 地域の活性化

- NEW たまねー地域通貨ギフト事業
- NEW たまねー物価高騰対策キャンペーン事業
- NEW 地域経済循環創造事業
- NEW 地域資源活用価値創出事業
- NEW 地域農業構造転換支援事業
- NEW 地域公共交通協議会設置

### ● DX

- NEW 農振農用地データ整備(農業DX)

### ● その他

- 新規就農者支援事業
- ふるさとワーキングホリデー事業
- 道路維持補修事業
- 伊勢道跨道橋点検

### ● 防災・減災

- UP! 外城田川災害防止対策事業
- 鳥獣被害防止対策事業

## <目標⑤:ともにつくる効率的な地域運営のまち>

予算額  
24,841千円

### ● DX

- ・ NEW 公開型GIS導入事業
- ・ NEW キオスク端末導入事業(行政DX)
- ・ eL-TAX対応業務

### ● その他

- ・ 郵便局でのマイナンバーカード交付事務委託
- ・ 財産調査システム導入

### ● 地域の活性化

- ・ NEW 住民主体のまちづくり交付金創設

# その他

## 玉城町トレーナー制度 導入

「予測困難なVUCA(ブーカ)時代※」が到来する中、主体的な思考力と実践力、積極的に挑戦・行動できる力を備えた人財が求められています。

「玉城町人材育成・確保基本方針」に基づき、人材育成の一環として、OJT強化に取り組めます。

### 【制度導入の背景】

- ・新規採用職員は不安を抱えつつ早期成長を望む
- ・OJTは最も重要な育成手段
- ・指導の質のばらつきを防ぐため制度化が必要

### 【制度の目的】

- ・担当業務・ルール・マナーの早期習得
- ・相談相手の明確化による不安軽減
- ・職場全体で育成する文化の醸成
- ・新規採用職員の早期戦力化

※変動性(Volatility)・不確実性(Uncertainty)・複雑性(Complexity)・曖昧性(Ambiguity)の4つの頭文字を取った、将来の予測が困難な現代の社会